

2014年総合生活改善の取り組み 拡大戦術会議登録組合(12組合) 要求・回答(賃金・一時金)

プレス用

組合名	基礎				要求					回答							
	年令 歳	勤続 年	扶養 人	組合員数 人	要求日	平均賃上げ 円	個別賃金 円	一時金(カ月)		回答日	平均賃上げ 円	カーブ 維持	個別賃金 円	一時金			
								年間月数	夏冬					年間月数	金額	夏	冬
トヨタ	38.3	17.6	1.1	57,442	2/12	11,300円 (内、賃金制度維持分7,300円)	353,530	6.8	3.8 3.0	3/12	10,000円	○	352,540		244万円	137万円	107万円
日産	41.9	19.5	0.8	20,568	2/12	平均賃金改訂原資 (9,500円)	(345,100) ※1	5.6	—	3/12	平均賃金改訂原資 (9,500円)	○	(345,100) ※1	(5.6) ※3	2,102,100円	—	—
本田技研	42.1	20.0	1.2	37,383	2/12	3,500円	351,100	5.0+0.9	2.9 3.0	3/12	2,200円	○	349,850	5.9	(2,192,000円) ※3	2.9 (1,078,000円) ※3	3.0 (1,114,000円) ※3
マツダ	38.0	16.1	1.2	18,591	2/12	賃金引上げ 3,500円	○	5.3	2.65 2.65	3/12	賃金引上げ 1,100円	○	別途確定	(5.3) ※3	1,658,000円	(2.65)※3 829,000円	(2.65)※3 829,000円
三菱自工	38.8	15.6	1.0	10,922	2/12	賃金改善分 3,500円	317,600	5.0	2.45 2.55	3/12	賃金改善分 2,000円	○	別途確定	5.0	1,519,000円	2.45 744,000円	2.55 775,000円
スズキ	37.2	15.0	1.0	15,025	2/12	賃金制度維持分 (昇給制度維持) +賃金改善分3,500円	○	5.5	2.75 2.75	3/12	標準的に昇格・昇進した者の 昇給額は、昨年と同等 水準を維持する。 賃金の改善として800円。	○	○	5.5		2.75	2.75
ダイハツ	36.6	14.6	1.2	10,875	2/12	賃金水準維持 +賃金改善分3,500円	○	5.0+0.5	2.7 2.8	3/12	賃金水準維持 +賃金改善分800円	○	○	5.5		2.7	2.8
富士重工	37.6	16.6	1.0	12,251	2/12	賃金体系維持分 +賃金改善分3,500円相当	296,954	5.0+1.0	2.5+0.5 2.5+0.5	3/12	賃金体系維持分 +賃金改善分2,000円相当	○	別途確定	6.0		3.0	3.0
いすゞ	39.0	18.2	0.9	6,401	2/12	3,500円	○	6.0	3.0 3.0	3/12	2,500円	○	○	6.0		3.0	3.0
日野	33.1	11.4	0.7	9,139	2/12	定期昇給分 +賃金表改定分(3,500円)	340,508 ※2	6.0	3.0 3.0	3/12	定期昇給分 +賃金表改定分(2,100円)	○	別途確定	6.0	1,587,600円	3.0 793,800円	3.0 793,800円
ヤマハ発動機	39.9	16.7	1.2	9,356	2/12	賃金改善分3,500円	○	5.5	2.75 2.75	3/12	賃金改善分 2,000円	○	○	5.5		2.75	2.75
日本発条	36.2	14.5	1.0	3,747	2/12	賃金制度改定原資 9,450円	299,070	5.7+15万円	2.85+7.5万円 2.85+7.5万円	3/12	賃金制度改定原資 8,350円	○	298,070	5.5+α		2.75+α	2.75+α
12組合	38.2	16.3	1.0	211,700 (合計)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
内、 メーカー11組合	38.4	16.5	1.0	207,953 (合計)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

\* 個別賃金については、「技能職中堅労働者(中堅技能職)(注)」を銘柄とする。

\* 個別賃金の欄が「○」の組合は、要求は行方が水準は非公開。

(※1) 前年度到達水準が維持されることを確認する(参考値)

(※2) 賃金表改定分を獲得した場合の水準

(※3) ( )は回答水準の置き換え(組合換算値)